

## 認知症初期集中支援チームを設置します

◆問い合わせ  
福祉課介護班 ☎84-1257

町では、認知症になっても安心して生活が続けられるよう、3月に「認知症初期集中支援チーム」を設置し、4月から本格的な活動を開始します。認知症の症状などでお困りの場合、専門職がご家庭を訪問してサポートします。

### 認知症初期集中支援チーム

認知症の早期対応のため、地域包括支援センター内に設置し、認知症専門医、看護師、社会福祉士、主任ケアマネージャーなどの医療と福祉の専門職が専門的な立場で多面的な支援をします。

### 対象者

町内在住の自宅で生活している40歳以上で、次に該当する方です。

- ①医療サービスや介護サービスを利用していない、または中断している。
  - ②医療サービスや介護サービスを利用しているが、認知症による症状(徘徊・妄想・暴力等)が強く、介護や対応に困っている。
- ※例 ・ものを盗られる妄想などがあり、病院での受診を勧めるが嫌がる。  
・近所の人で認知症のような言動があり心配だが関わりを拒む。等

### 支援の流れ

- ①地域包括支援センターへお越しいただくか、直接電話でご相談ください。
- ②支援チーム員がご自宅を訪問します。
- ③訪問で把握した内容をもとに、支援チーム員会議で支援方法を協議します。
- ④協議した結果に基づき、認知症の症状に沿った助言や家族の介護負担の軽減、適切な医療や介護サービスの検討など6ヶ月を目途に支援します。

### 認知症予防講演会を開催します

地域の第一線で認知症の診療をしている医師の講演会です。

と き 3月26日(土)  
午後2時～4時

と ころ 町民会館 大ホール

内 容 **講演会**  
認知症予防講演会  
～知って安心、認知症～  
(講師)  
浅井病院  
認知症疾患医療センター長  
秀野 武彦氏

#### 発表

認知症介護体験家族の体験発表

申込方法 電話でお申込ください。

#### ◆申込・問い合わせ

福祉課介護班  
☎84-1257



### 認知症が心配な方へ

～該当する項目をチェックしてください～

#### 物忘れがひどい

- 同じことを何度も言う・問う・する。
- しまい忘れや置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと言う。

#### 人柄が変わる

- 些細なことで怒りっぽくなった。
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった。
- 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた。

#### 判断・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- 新しいことが覚えられない。

#### 不安感が強い

- 外出時、かばんの中など持ち物を何度も確認する。
- 一人になるとさびしがる。

#### 時間や場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった。
- 家の周囲でも道に迷うようになった。

#### 意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみに気をつかわなくなった。
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。

※日常生活の中でいくつか思い当たることがあれば、かかりつけ医や下記へご相談ください。

#### 相談先

地域包括支援センター(高齢者支援・介護相談) ☎80-3339  
福祉課介護班 ☎84-1257  
認知症疾患医療センター(浅井病院) ☎0475-58-5000  
千葉認知症コールセンター ☎043-238-7731